JS 斜面工法協会が総会を開催

11 月 4 日、JFE 建材（代表取締役社長　槁本直政）の斜面・防災対策商品を扱う会員で構成する JS 斜面工法協会（会員 37 社、会長・栗原裕之　栗原建材産業社長）はこのほど、滋賀県大津市の琵琶湖ホテルにて 2025 年度定期総会を開催、会員など 38 名が参加した。総会前に三井寺散策・座禅体験を行い、心身整え総会に臨んだ。今年度から新たに 3 社入会し、会員 37 社体制となった。冒頭に栗原会長は「地方の建設業では高齢化対策が喫緊の課題。デジタル手法の導入は必要であるが、まだまだ人間の知恵や肌感覚が求められる分野も多い。当協会としても多くの方に共感して採用される工法を開発してラインナップの充実、拡販に繋げていきたい」と挨拶した。続けて三輪義浩事務局長（JFE 建材防災商品営業部長）が「新たな仲間に参加していただき、協会体制も一層充実してきた。会員の多様な知見と現場経験が集まることで製品開発、提案活動の質が高まり、協会としての発信力も強化される」と述べ、今後の活動方針の確認をした。その後、槁本社長は「美しい日本、魅力ある日本をしっかり守っていく一翼を担っていく。一つでも多くの現場に携わり、減災・防災に貢献し、安心・安全を提供し続けていく」と挨拶した。

総会終了後、外部講師を招き「近年の DX に関する技術について」という項目で講演を行い、最新デジタル技術の紹介や、今後の展望についても説明され、参加者の理解を深める有意義な時間となった。

その後、会場を移して懇親会を行い、会場は大いに盛り上がりをみせた。

写真：挨拶をする栗原会長